

資料3-1 (別紙)

基本方針	目標	指標	現状値(A)	目標値(B)	実績値					達成率	目標ごと平均達成率	
			H29	R5	R元	R2	R3	R4	R5(C)	(C/B)		
1. 広大な県土の移動を実現する幹線路線と広域バス路線の維持確保	(1) 復興まちづくりも見据えた将来的に持続可能な地域公共交通ネットワークの構築	①三セク鉄道・バスの一人当たりの年間利用回数	17.5 回	17.5 回	16.1 回	10.5 回	10.2 回	11.0 回	11.8 回	67.43%	88.27%	
		②幹線路線に接続する広域バス路線割合	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100.00%		
		③広域路線バス1路線当たりの平均乗車密度	3.4 人	3.8 人	3.5 人	2.8 人	2.7 人	2.9 人	3.7 人	97.37%		
	(2) 住民の日常的な移動を支える広域バス路線の維持	①三セク鉄道・バスの一人当たりの年間利用回数(再掲)	17.5 回	17.5 回	16.1 回	10.5 回	10.2 回	11.0 回	11.8 回	67.43%	82.52%	
		③広域路線バス1路線当たりの平均乗車密度(再掲)	3.4 人	3.8 人	3.5 人	2.8 人	2.7 人	2.9 人	3.7 人	97.37%		
		④県民意識調査における公共交通満足度	2.6 点	2.9 点	2.5 点	2.6 点	2.6 点	2.6 点	2.4 点	82.76%		
	(3) バス運転士の確保による路線の維持	⑤運転士の新規確保人数	—	208 人 (5年間累計)	59 人 (累計59人)	46 人 (累計105人)	38 人 (累計143人)	40 人 (累計183人)	70 人 (累計253人)	121.63%	121.63%	※R元～R5年度の退職者数は414人
	2. 幹線路線や広域バス路線と地域内公共交通の適切な接続拠点の設定及び接続利便性の向上	(4) 接続機能の強化による、幹線路線、広域バス路線、地域内公共交通の乗り換えの円滑化	⑥地域公共交通網形成計画等策定市町村数	12 市町村	33 市町村 (2022年度まで)	17 市町村	18 市町村	20 市町村	20 市町村	23 市町村	69.70%	150.85%
			⑦接続拠点における待合環境・乗り継ぎダイヤの改善件数	年9件	50 件 (5年間累計)	18 件 (累計18件)	21 件 (累計39件)	28 件 (累計67件)	23 件 (累計90件)	26件 (累計116件)	232.00%	
3. 利用促進による地域公共交通の活性化	(5) 日常的な利用と意識醸成による利用者の増加	⑧モビリティ・マネジメント(かしこい交通ライフチャレンジウィーク(現:公共交通スマートチャレンジ月間)への取組事業者数	110 事業者 (2018年度)	160 事業者	122 事業者	— コロナ禍により実施せず	— コロナ禍により実施せず	129 事業者	130 事業者	81.25%	—	
	(6) 観光資源・大規模行事を活かした利用者の増加	⑨企画切符等の公共交通利用促進策実施事業者数	14 事業者 (2018年度)	19 事業者	22 事業者	17 事業者	20 事業者	24 事業者	28 事業者	147.37%	102.56%	
		⑩<参考>宿泊客数(延べ)	607.6 万人	630.6 万人	627.7 万人	431.2 万人	443.4 万人	503.9 万人	585.5 万人	92.85%		
		⑪<参考>外国人宿泊客数(延べ)	18.8 万人	41.8 万人	29.8 万人	8.8 万人	1.8 万人	2.6 万人	28.2 万人	67.46%		
	(7) 高齢者や通学生などの利用の増加	⑫ノンステップバスの導入率	20%	38%	31.6%	32.7%	37.0%	40.4%	—	未確定	220.00%	
⑬割引制度等の公共交通利用促進策実施数	年20件 (2018年度)	年25件	年40件 (2019年度)	年46件 (2020年度)	年46件 (2021年度)	年50件 (2022年度)	年55件 (2023年度)	220.00%				

※達成率80%未満を網掛け